

## 古墳の周溝を発掘調査しました！（城西遺跡第8次調査）

令和3年4月27日（火）～6月11日（金）までの間、城西（じょうにし）遺跡第8次発掘調査を行いました。



調査区全景



発掘調査の様子

城西遺跡は、深谷市原郷に所在し、過去の調査では古墳時代の古墳跡などが確認されています。

今回の調査では、古墳の周溝（しゅうこう）※が3基発見されました。また、周溝の中からは埴輪片や土器片が出土しました。こうした遺物や遺構の埋没の様子から、古墳は古墳時代後期（約1500年前）に属すると考えられます。

さらに、1号墳の周溝の中からは多数の土師器（はじき）※がまとめて出土しました。これらの中には、意図的に底部に孔を開けたものもあり、今後さらに詳細な検討をしていく必要があります。

※周溝（しゅうこう）・・・古墳の墳丘周囲をめぐるような形で掘削された溝。

土師器（はじき）・・・古墳時代～平安時代に製作されていた赤褐色の素焼土器。



1号墳 埴輪出土状況



1号墳 土師器集中出土状況